



# バック事故の防止について



# バック事故は何故起きる？

過信・安心

大丈夫！

焦り

急がなきゃ！

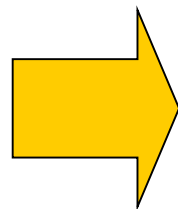
怠惰

厭だ、面倒くさい！

疲労

人の特性

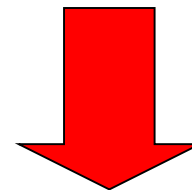
固定物に無関心



不確認  
不注意

+

運転技量  
不足



事故

# 構内の場合、バック事故は何時起きる？

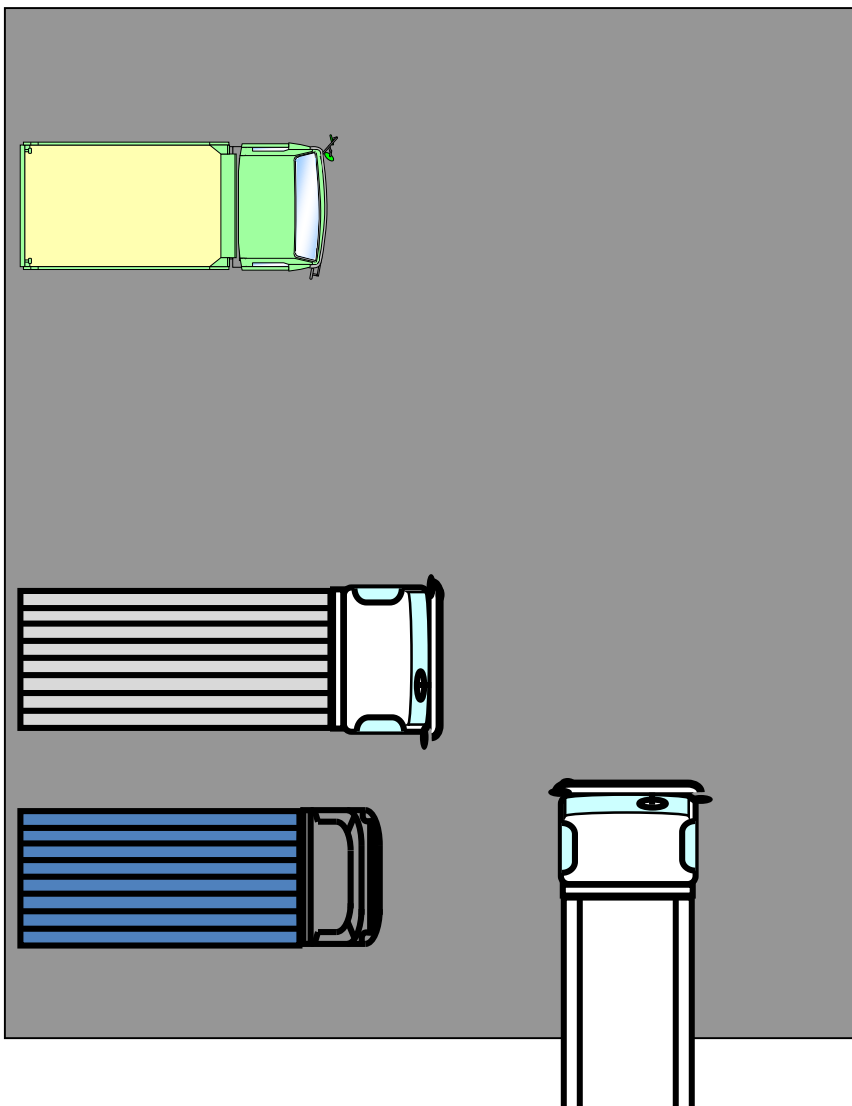
構内方向変換時  
(再発進時)

駐車時  
(入庫、出庫時)

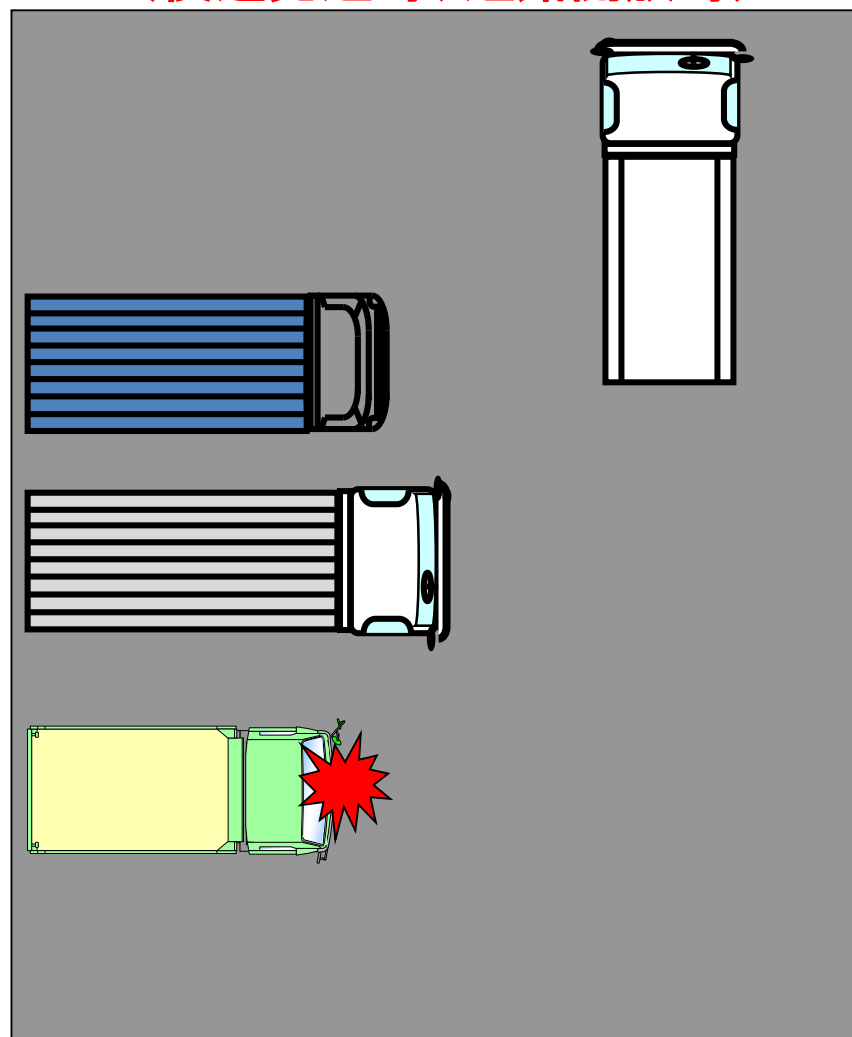
進路開放時  
(譲り)

# 後退時の事故を考える

通常事故にならない状況  
(予め後退しようとして見ている)



事故が起こり易い状況  
(後退発進時、進路開放時)



# 構内における運転者の心理

- 1 公道ほど状況の変化が激しくない。(過信)
- 2 早く出発したい。(焦り)
- 3 知っている場所なので、大丈夫だ。(怠惰)
- 4 やっと、帰ってきた。疲れた。(安心感)
- 5 人や自転車は、ほとんどいない。(過信)
- 6 定位置に駐車するので、大丈夫だ。(怠惰)
- 7 お客様のところでは、緊張する。(過度の緊張)

# バック事故は何故起きる？

過信・安心

大丈夫！

焦り

急がなきゃ！

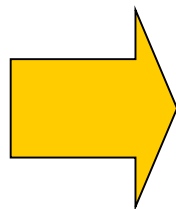
怠惰

厭だ、面倒くさい！

疲労

人の特性

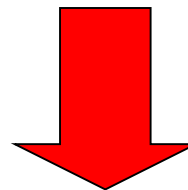
固定物に無関心



不確認  
不注意

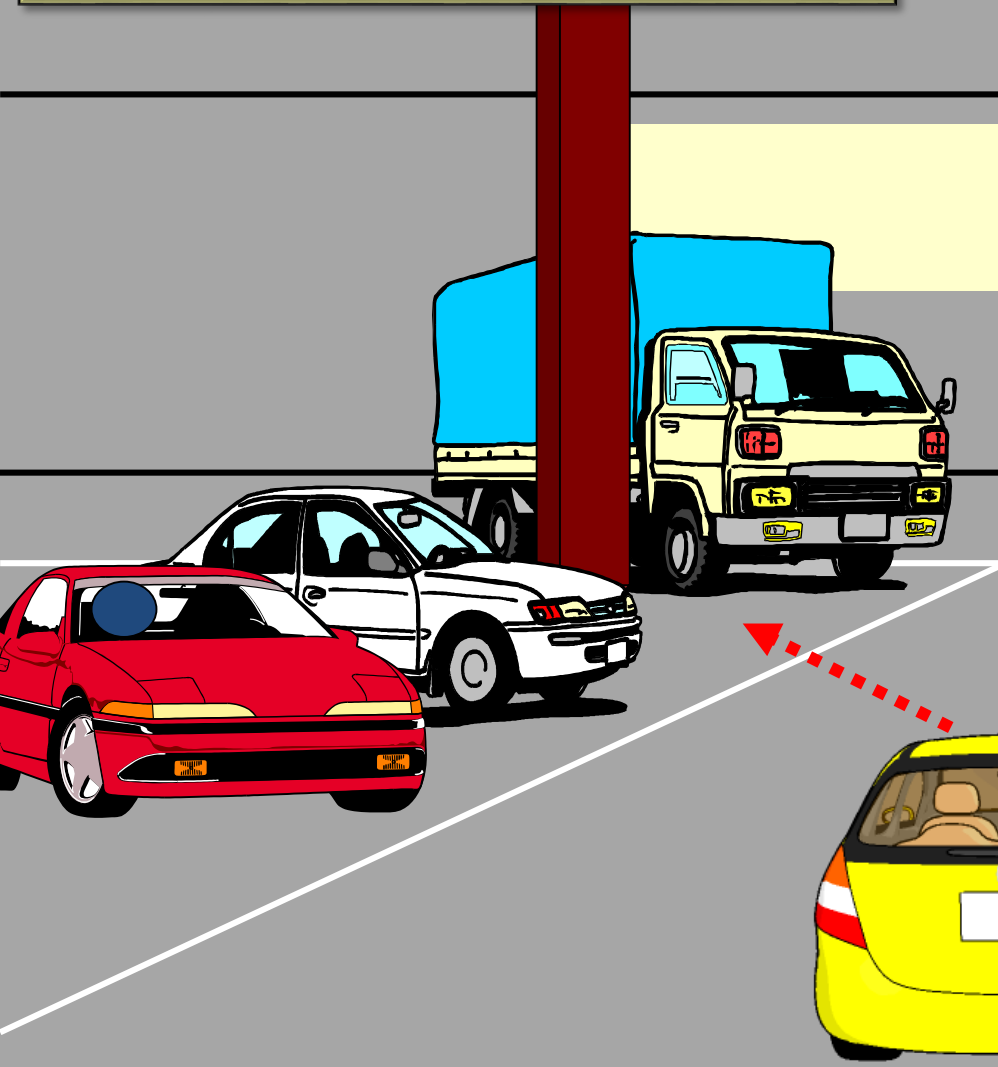
+

運転技量  
不足

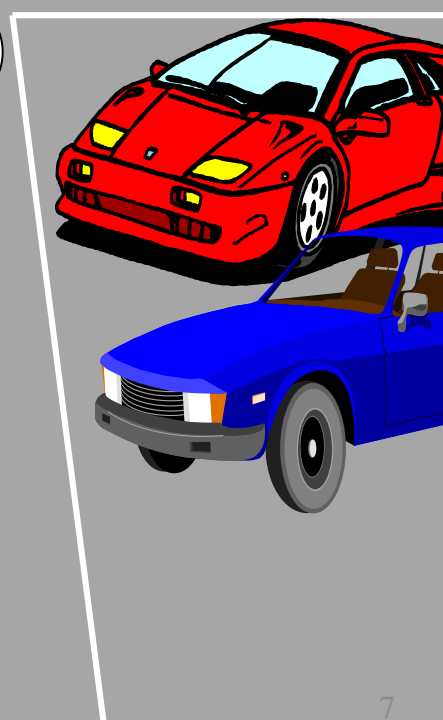


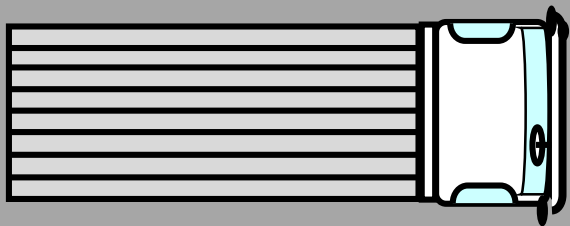
事故

「もう少しでバック事故！」

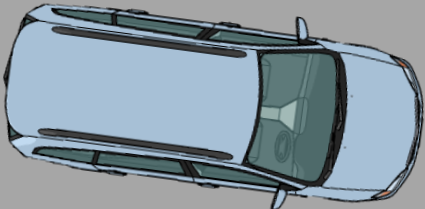
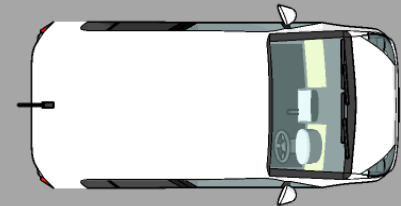
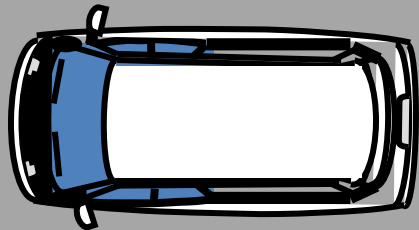
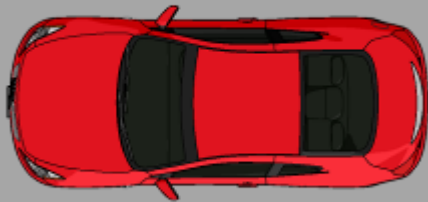
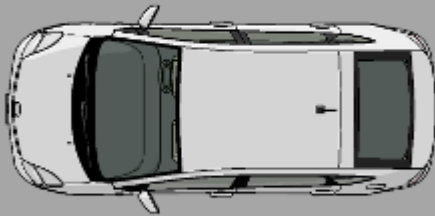


あっ！  
空いてる





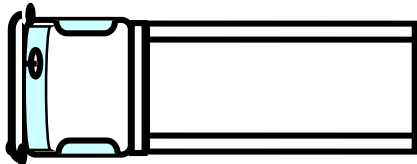
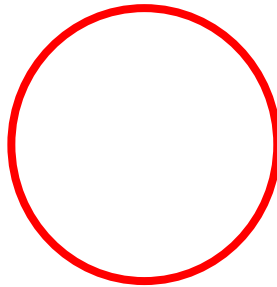
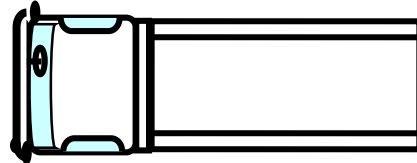
あっ!  
柱だ





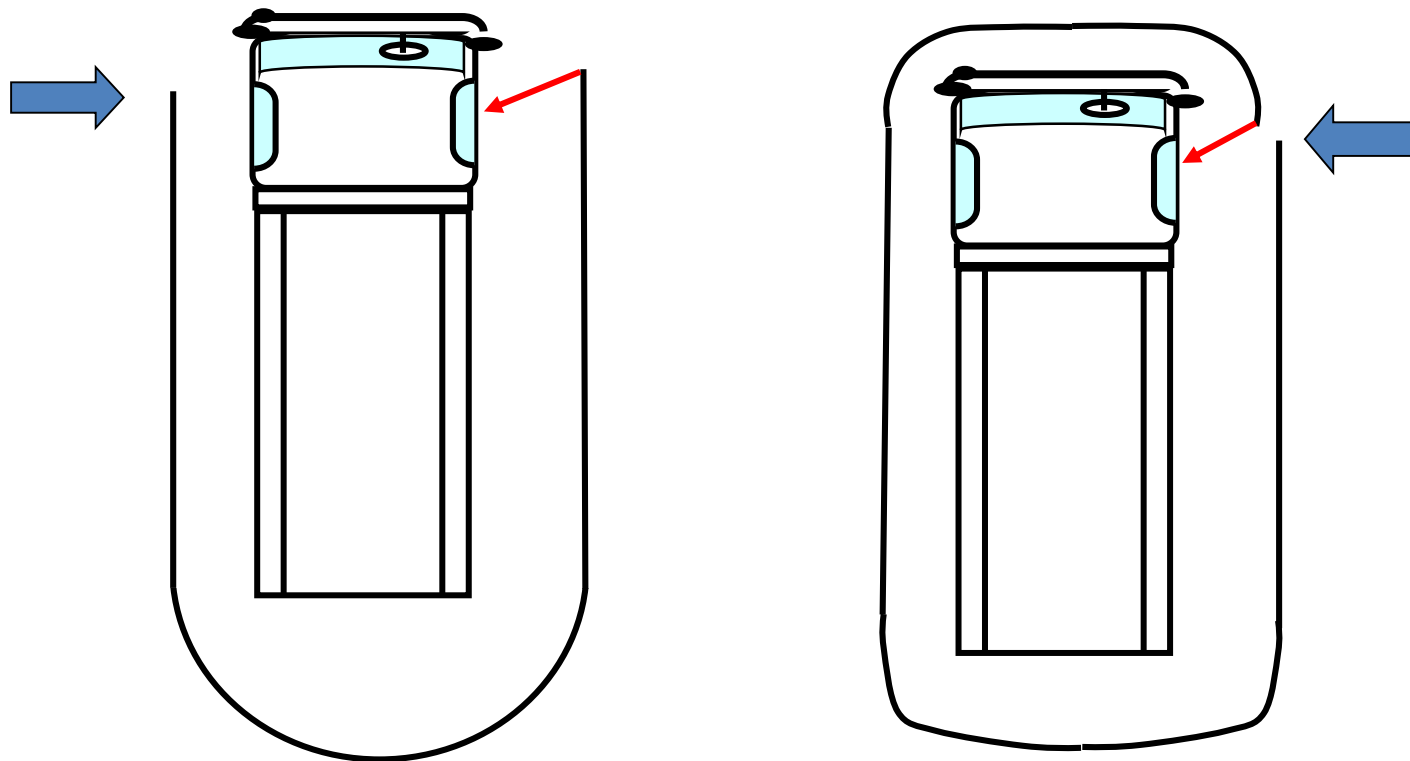
# 構内におけるバック時の事故を防止するために

## ① バックしない方法を考える



## ②後方を一回り確認する

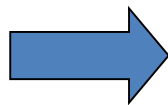
だろろ運転は禁物、確認して  
から。特に、再出発時



**一回り点検 よし!**

### ③ バックする距離を必要最小限に

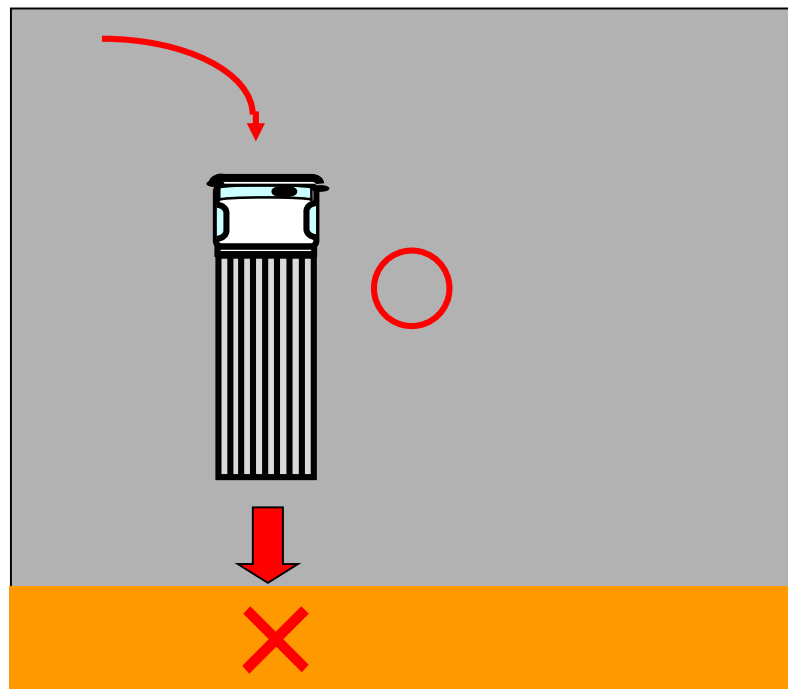
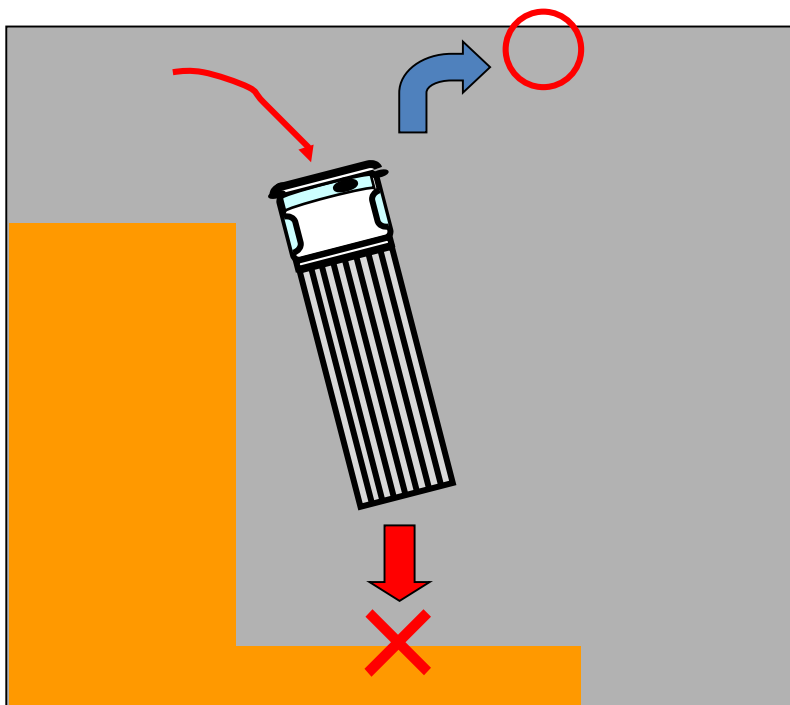
運転がうまい  
という意識



事故につながる可能性

・車体が真っ直ぐなるまで、バックしない

・不必要に対象の直近に着けない



#### ④ 到着時に安心しない

自分の会社の駐車場に戻ってきた時、安心感が生まれます。

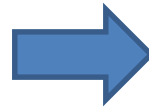
そして、駐車場は危険ではないという意識から緊張を解いてしまうために、多くの事故が発生しています。

安心するのは、自車を駐車し、エンジンを停止させてからにしましょう。

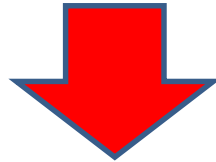
適度な緊張感を保つことが、事故を防止します。

## ⑤バックモニターを過大に信頼しない

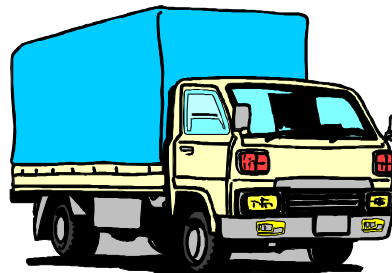
バックギアに入れて、  
警告音を3回鳴らす



自分の心の準備  
周囲への注意喚起

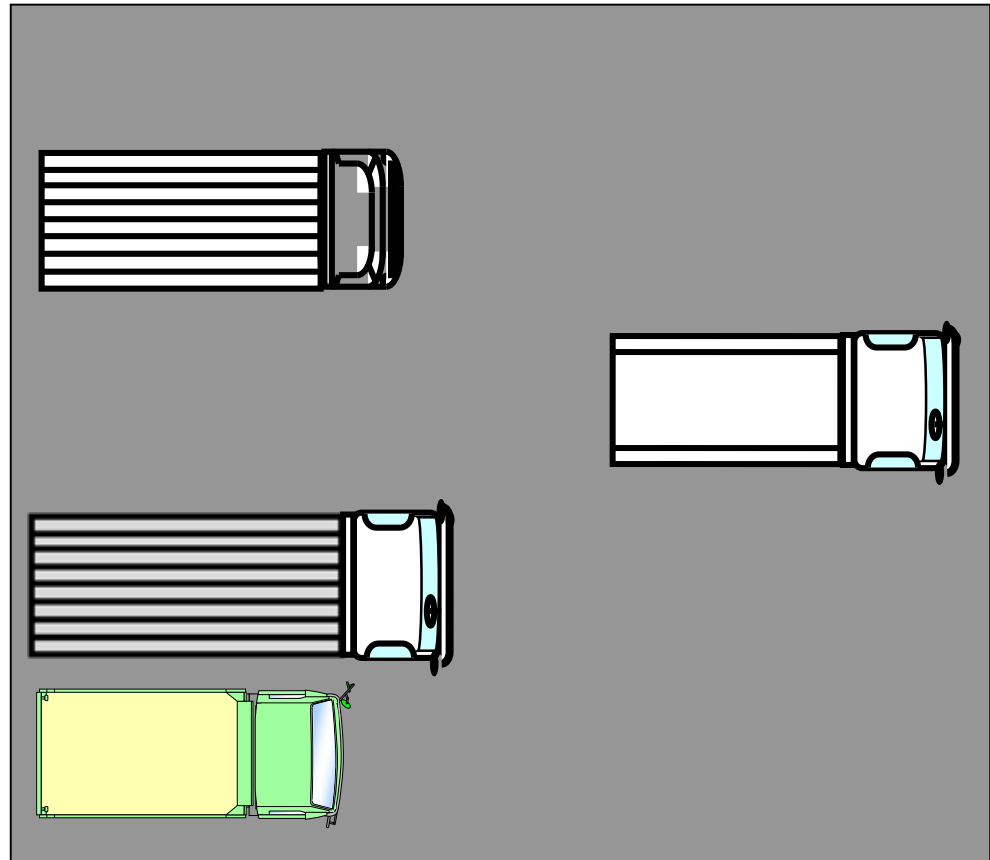
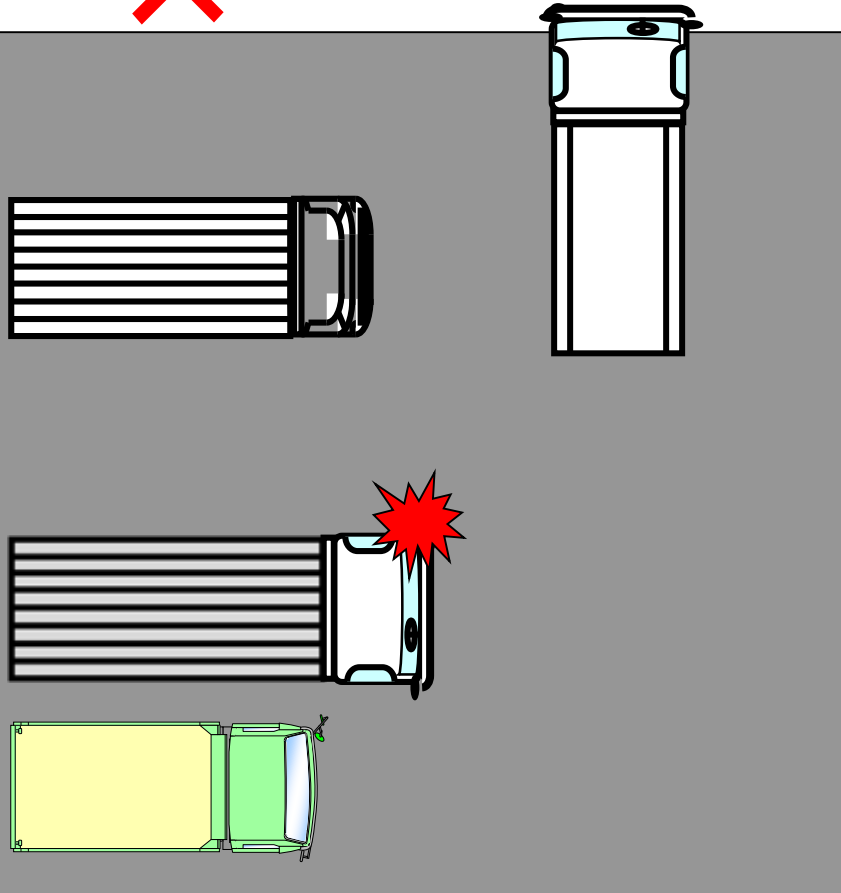


モニターに映らないところを  
肉眼で確認しながら後退



高さの確認も忘れない。

## ⑥ 切り返しを繰り返し、極力直線でバックする



出来るだけ前進時にハンドルを切り、後退時は微調整のみ

# ⑦バックは、常にノーアクセル(半クラッチ)で！

死角が多い

+

早く走行する  
必要性が低い

=

クリープ現象を  
利用した後退

出来るだけゆっくりと歩く速度でバックする

# バック事故は何故起きる？

過信・安心

大丈夫！

焦り

急がなきゃ！

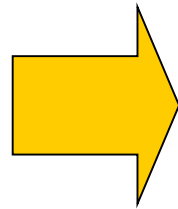
怠惰

厭だ、面倒くさい！

疲労

人の特性

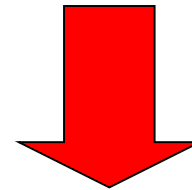
固定物に無関心



不確認  
不注意

+

運転技量  
不足



事故